

あなたの「声」で、  
視覚障害者に本を  
届けてみませんか？

主催：川崎市視覚障害者情報文化センター

## 音訳ボランティア養成講座受講生募集

皆様は、視覚障害者がどのように読書を楽しんでいるかご存じでしょうか。当事者の方は市販された本をそのまま読むことができないため、本文を音声で伝える配慮が必要になります。この音声化する作業を「音訳」といい、これらの現場は「ボランティア」の皆様によって支えられています。

この度、川崎市視覚障害者情報文化センターでは、視覚障害者の読書をお手伝いし、てくださる音訳ボランティアを増員するため、2026年度音訳ボランティア養成講座を開催いたします(受講には事前説明会への参加が必須となります)。

資格や経験は不問です。皆様からのお申し込みをお待ちしています。

### 事前説明会のご案内

2026年8月20日(木)・23日(日) 13:00～14:30

※両日とも同じ内容となります。ご都合の良い日をお選びください。

音訳者養成講座(詳細は裏面参照)を受講する前に、適正審査を受けていただきます。

この審査は、皆様の読みを確認するためのもので、当日課題文を配布し、期間内に録音したものを提出していただきます。本講座を受講するには、この審査に合格する必要があります(※審査の評価内容について、個別のご説明は差し控えさせていただきます。なにとぞご了承ください)。

☑定員 各日10名(先着順)

☑応募資格 センターの音訳ボランティアとしてご活動いただける方

☑締め切り 8月13日(木)までに、電話・Fax・メールでお申し込みください。

お問い合わせ・申し込み

川崎市視覚障害者情報文化センター 音訳担当 橋口・大城

TEL 044-222-1611 / Fax 044-222-8105 / Email kawasaki-icc@kawasaki-icc.jp

# 音訳者養成講座について

「本を読みあげる」というと「朗読」をイメージされる方が多いと思いますが、実際は少し違います。音訳には特有の専門技術が求められます。文章の読解力と音声で再現する表現技術、難読語や人名・地名などを調べる調査技術、記号や図表などをわかりやすく説明する処理技術など、幅広いスキルが必要になります。

そう聞くと不安に感じる方も多いかもしれませんが、センターの音訳ボランティア養成講座では初心者の方も安心して取り組めるよう、およそ3か月をかけて、音訳に必要なさまざまな技術をレクチャーしていきます。

いきなりすべてをできる人なんていません。実際に音訳者として活動しながら、ゆっくりと慣れていく方ばかりです。フォローも丁寧に行いますので、どうぞご安心ください。

## ☑開催期間

9月17日(木)～11月5日(木)

13:00から16:00(全8回)

## ☑受講者数 5名(予定)

## ☑受講条件

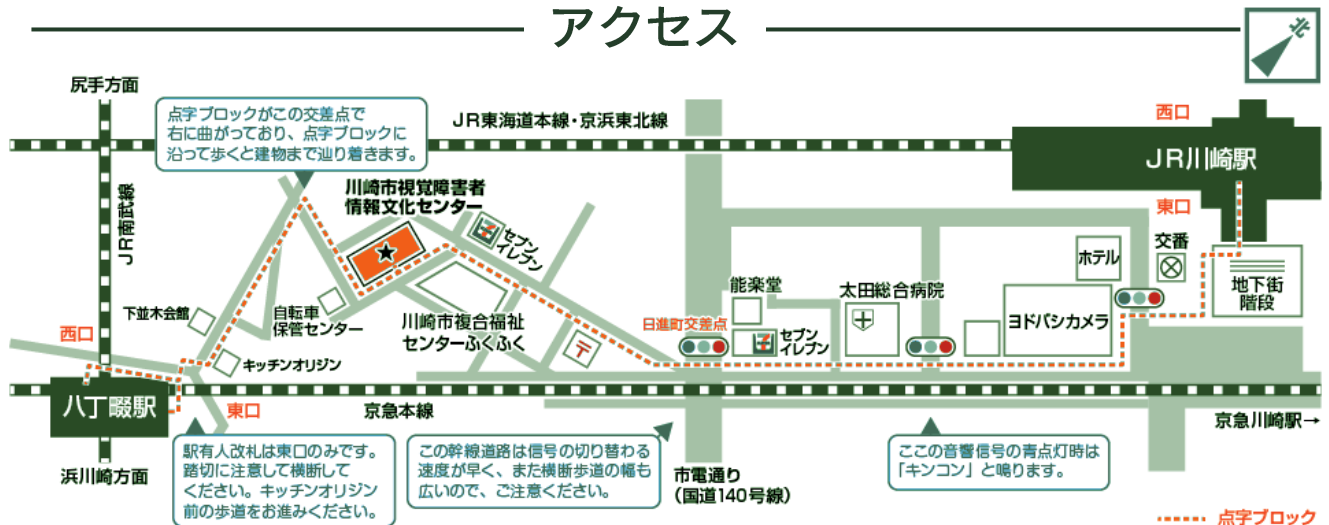
審査課題に合格していること

(長く関わってくださる方大歓迎!)

【川崎市視覚障害者情報文化センター外観】



## アクセス



開館時間：火曜日から日曜日 午前9時から午後5時まで

休館日：月曜日・祝日・月曜日にあたる祝日の翌日・年末年始・図書整理期間

住所：〒210-0026 川崎市川崎区堤根34番地15 (ふれあいプラザかわさき3階)

交通：JR川崎駅 徒歩15分、京急八丁駅 徒歩5分